

A 3D rendered image of a grey mechanical component, possibly a wheel or a gear, with a checkmark on a small rectangular piece attached to it. The image is set against a light grey background with soft shadows.

骨盤矯正の禁忌

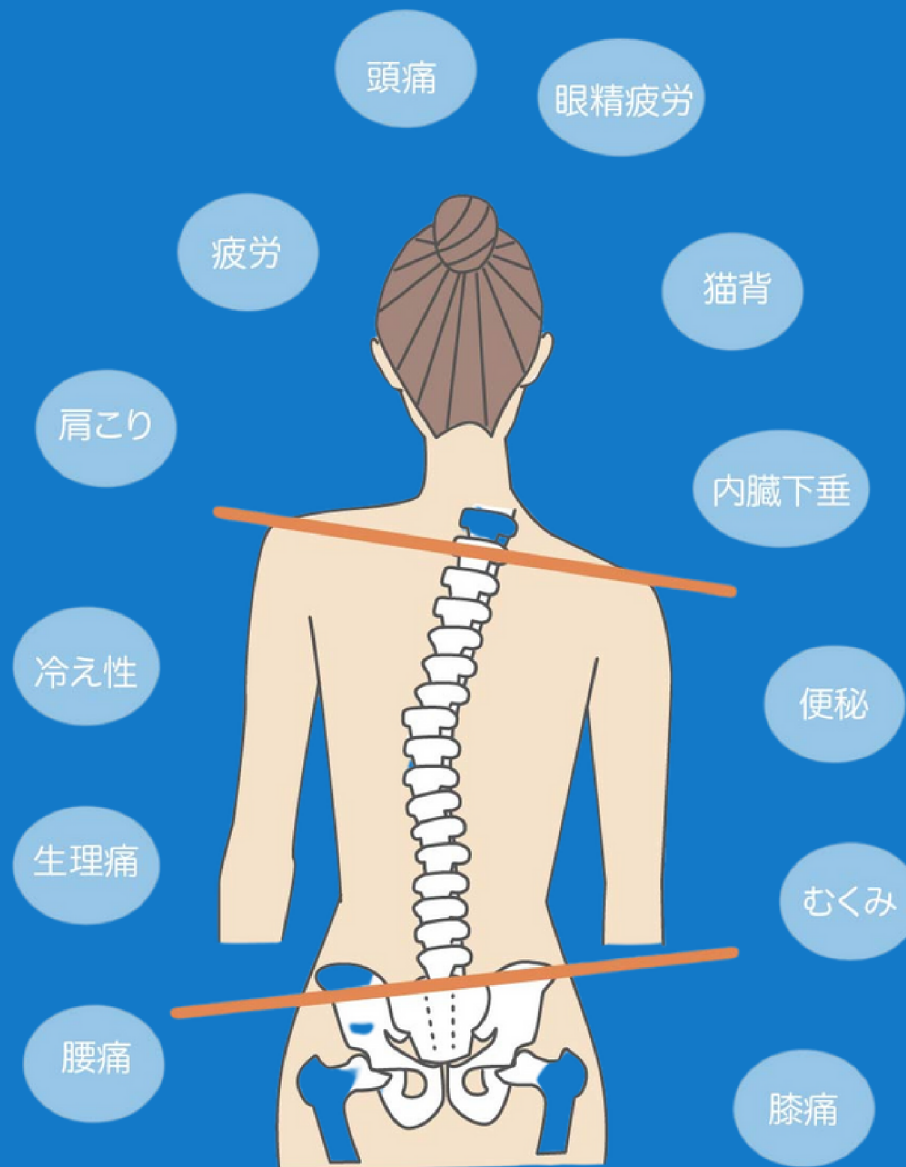
そもそも骨盤矯正とは？

日頃のクセや偏った身体の使い方や出産などによって
歪んだり傾いた骨盤を正しい位置に戻す施術



骨盤矯正の効果

骨盤の位置が正確に戻ることで、血流やリンパの流れが良くなり、冷え性や生理痛、腰痛、下半身太り、むくみなどを改善することが出来る。



骨盤矯正を行なった方が良い人

- ・ダイエットで痩せたい人
- ・冷え性の人
- ・下肢がむくみやすい人
- ・慢性的な腰痛や肩こりがある人



骨盤矯正を行なった方が良い人

- ・ 慢性的な腰痛や肩こりがある人
- ・ 出産後で骨盤の歪みがある人
- ・ ヒップラインを美しくしたい人
- ・ 小顔になりたい人
- ・ 全身の骨格バランスを取りたい人



産後の骨盤矯正

出産時には骨盤周りの関節や筋肉が緩みきった状態がピークになり、骨盤の関節（恥骨結合と仙腸関節）が開くことで、骨盤全体が大きく広がった状態になっている。



出産後の腰痛やむくみ、冷え性など様々な症状の原因となるため骨盤の歪みを戻す必要がある。



骨盤矯正 禁忌

骨盤矯正を行うことによって様々な症状が悪化したり
訴訟問題にもなる可能性があるため、
次に当てはまるものは問診でしっかりと確認し
原則、施術を行わないようにする。



骨盤矯正 禁忌一覧

- ・ 当日の体調が悪い
- ・ 重度の神経症状を伴う脊椎性疾患 { 椎間板ヘルニアや
脊柱管狭窄症など (排便・排尿障害) }
- ・ 産後1ヶ月以内。
- ・ 皮膚疾患に罹患している。
- ・ 医師から運動、マッサージなど血行が促進される
行動を止められている。
- ・ 骨折や脱臼が疑われる場合
- ・ 血管障害を伴う症状 (脳血管・心血管疾患、静脈瘤、
動脈硬化症など)
- ・ 血栓症。
- ・ 裂傷や擦過傷などの外傷がある
- ・ 癌治療を行っている。
- ・ 感染などによる急性炎症がある。
- ・ 重度のリウマチ性疾患
- ・ 1週間以内に予防注射を受けた。
- ・ 施術前にアルコールを摂取
- ・ 蕁麻疹などのアレルギー炎症

骨盤矯正 禁忌

当日の体調が悪い

疾患や妊娠、既往歴が禁忌に当てはまらない場合でも
施術当日の体調を確認する

- ・ 食事の摂取状況
- ・ 睡眠時間
- ・ 普段の体調と変化が無いか
(嘔吐や熱、1週間以内の感染症の罹患)



骨盤矯正 禁忌

重度の神経症状を伴う脊椎性疾患

軽度の脊椎性疾患であれば可能であるが、神経症状を伴う場合は必ず医師に確認してもらってから施術を行うようにすること。

- ・ 腰椎椎間板ヘルニア
- ・ 腰部脊柱管狭窄症
- ・ 腰椎変性すべり症
- ・ 脊椎分離症・分離すべり症
- ・ 腰椎変性側弯症 など



骨盤矯正 禁忌

出産後1ヶ月以内

出産後1ヶ月以内は産後の陰部の裂傷の治癒や妊娠高血圧症後の症状があるため原則行わない。

1ヶ月以降で症状が安定し、医師からの許可をもらえれば状態を確認しながら可能。



骨盤矯正 禁忌

皮膚疾患に罹患している

下記に示す皮膚疾患に罹患している場合は、
皮膚疾患の悪化や術者の感染リスクを考慮して原則禁止

- ・ 蜂窩織炎
- ・ 粉瘤（ふんりゅう）
- ・ 尋常性ざ瘡（にきび）
- ・ 毛嚢炎（もうのうえん）
- ・ 疥癬（かいせん）
- ・ 脂肪腫
- ・ 汗疹
- ・ 稗粒腫（はいりゅうしゅ）
- ・ 白癬（はくせん・水虫）
- ・ 水ぼうそう
- ・ 乾皮症
- ・ 皮膚掻痒症

- ・ アトピー性皮膚炎



骨盤矯正 禁忌

医師から運動、マッサージなど血行が促進される行動を止められている。

医師からの指示で血行の促進する行動などが止められている場合は禁止

- ・ 末梢動脈性疾患
- ・ 閉塞性動脈硬化症（ASO）
- ・ バージャー病



骨盤矯正 禁忌

骨折や脱臼が疑われる場合

問診や視診で明らかかな炎症兆候（発赤・腫脹・熱感・疼痛・機能障害）や受傷時の音、冷や汗や吐き気などの症状がある場合は速やかに整形外科の受診を勧める。



骨盤矯正 禁忌

血管障害を疑う症状がある場合

下記に示す血管性症状が疑わしい場合は速やかに施術を中止し、すぐに病院へ受診を促す

- ・ 脳血管疾患（脳梗塞、脳出血、脳腫瘍、くも膜下出血）
- ・ 心疾患（狭心症、心筋梗塞、心房細動、弁膜症、心不全）
- ・ 静脈瘤（下肢静脈瘤、食道静脈瘤、クモの巣状静脈瘤）
- ・ 動脈硬化症（下肢閉塞性動脈硬化症、アテローム性動脈硬化症）

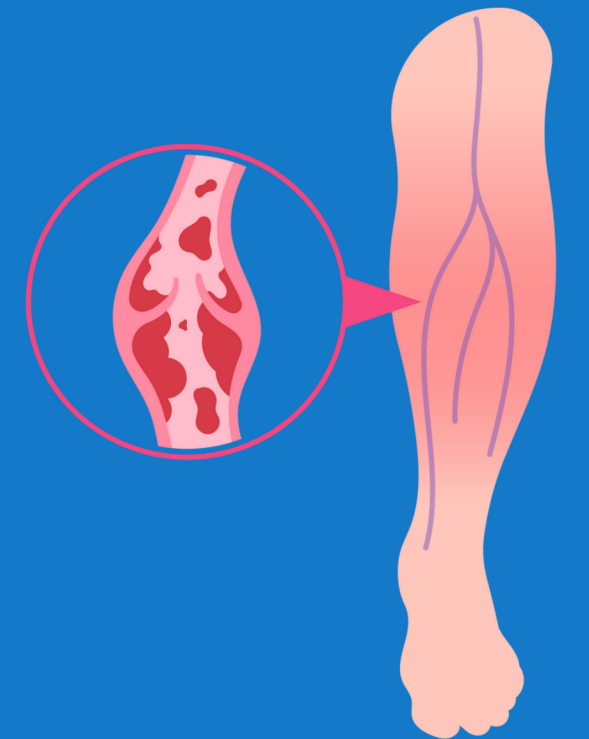


骨盤矯正 禁忌

血栓症

血栓症に罹患している場合は原則禁止

※血行を促進することにより血栓が肺や心臓など
様々な血管に詰まる可能性があるため



骨盤矯正 禁忌

裂傷や擦過傷などの外傷がある

裂傷や擦過傷などの外傷がある場合は、
施術によって出血や傷が悪化するリスクがあるため
原則禁止

(※但し、指先などの軽い外傷で出血が止まっている場合は可能)



骨盤矯正 禁忌

癌治療を行なっている

癌治療中は原則禁止

- ・ 癌細胞を活性化させる可能性があるため

※癌治療が終了し、医師に確認して施術の許可を
頂いた場合は施術可能である



骨盤矯正 禁忌

感染などによる急性炎症がある

急性炎症は原則禁止

- ・炎症を悪化させる可能性が高いため

※慢性炎症に関しても問診や症状などを
評価し施術を行う



骨盤矯正 禁忌

重度のリウマチ性疾患

関節軟骨や関節の破壊が進行し、
関節が動かない状態の場合は、
骨折のリスクがあるため原則禁止

- ・ 全身性エリテマトーゼス
- ・ 多発性筋炎
- ・ 皮膚筋炎
- ・ シェーグレン症候群
- ・ ベーチェット病



骨盤矯正 禁忌

1週間以内に予防接種を受けた

- ・ 予防接種後 1 週間は免疫機能の低下や副反応が発生しやすくなるため、原則禁止

※生ワクチンでは 4 週間

不活性ワクチンでは接種後 1 週間
以内に副反応が発生しやすい



骨盤矯正 禁忌

施術前にアルコールを摂取

- ・ 施術前にアルコールを摂取した場合は
血流の改善・促進などにより急性アルコール中毒
になるリスクがあるため禁止



骨盤矯正 禁忌

蕁麻疹などのアレルギー炎症

蕁麻疹などのアレルギー炎症がある場合
（特に症状が強く出ている場合）は痒みや炎症を増幅する
リスクがあるため原則禁止



骨盤矯正 禁忌

上記で記載したものの以外で、少しでも体調や皮膚・表情・骨盤周囲の状態に違和感がある場合は、必ずクライアントや医師に相談・確認して施術すること。

